

各位

会社名 アスクル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO 吉岡 晃
 (コード番号:2678 東証一部)
 問合せ先
 役職・氏名 取締役 CFO 玉井 継尋
 TEL 03-4330-5130

その他の関係会社の決算に関するお知らせ

本日、当社のその他の関係会社であるZホールディングス株式会社（本店所在地：東京都千代田区紀尾井町1-3、代表者の名前：代表取締役社長 川邊 健太郎）より、2020年度通期及び第4四半期決算説明会プレゼンテーション資料が発表されましたが、その資料に当社グループに関する記載がありましたので、該当ページに関し別添のとおりお知らせいたします。

添付資料中、当社グループの売上高と売上原価に関する記載がございますが、以下の通りZホールディングス株式会社と当社の各連結会計期間は異なっており、当社が公表する決算数値とは合致しません。

連結会計期間	Zホールディングス株式会社	当社
通期	2020年4月1日～2021年3月31日	2020年5月21日～2021年5月20日
	添付資料中 アスクルグループ売上高 115億円増額、 同 売上原価 35億円増額 との記載あり	
第4四半期	2021年1月1日～2021年3月31日	2021年2月21日～2021年5月20日
	添付資料中 アスクルグループ売上高 8億円増額、 同 売上原価 9億円減額 との記載あり	

別添 Zホールディングス株式会社 2020年度通期及び第4四半期決算説明会プレゼンテーション資料（抜粋）

（注）2020年5月20日時点でZホールディングス株式会社は当社発行済株式総数の41.67%を所有しております。

以上

Zホールディングス株式会社 決算説明会
2020年度 通期及び第4四半期

2021年4月28日

Z HOLDINGS

Appendix

財務

2020年度 通期 営業利益の増減要因

項目		通期	YoY	主な増減要因
FY2019 実績		1,522 億円		
前年度差	売上収益	+1,529 億円	+14.5 %	<ul style="list-style-type: none"> • ZOZO +904億円 (2019年11月より連結) • LINE +252億円 (2021年3月より連結) • アスクルグループ +115億円 • イーブック +86億円 • ワイジェイカード +72億円
	売上原価	+79 億円	+1.9 %	<ul style="list-style-type: none"> • イーブック +42億円 • アスクルグループ +35億円 • LINE +32億円 • ZOZO +16億円
	販売費及び一般管理費	+1,239 億円	+26.5 %	<ul style="list-style-type: none"> • ZOZO +661億円 • ZHD、ヤフー +334億円 • LINE +308億円
	以下主な内訳 人件費	+287 億円	+26.4 %	<ul style="list-style-type: none"> • ZOZO +141億円 • LINE +67億円
	減価償却費	+189 億円	+23.0 %	<ul style="list-style-type: none"> • ZOZO +116億円
	販売促進費	+219 億円	+30.1 %	<ul style="list-style-type: none"> • 主にeコマース取扱高成長に伴う費用増、及び販促施策等による増加
	業務委託費	+97 億円	+15.4 %	<ul style="list-style-type: none"> • ZOZO +67億円 • LINE +32億円
	その他収益及び費用	+111 億円	-	<ul style="list-style-type: none"> • 固定資産売却損益やLINE(株)統合に伴う使用権資産の減損損失 等
FY2020 実績		1,621 億円	+6.5 %	

2020年度 第4四半期 営業利益の増減要因

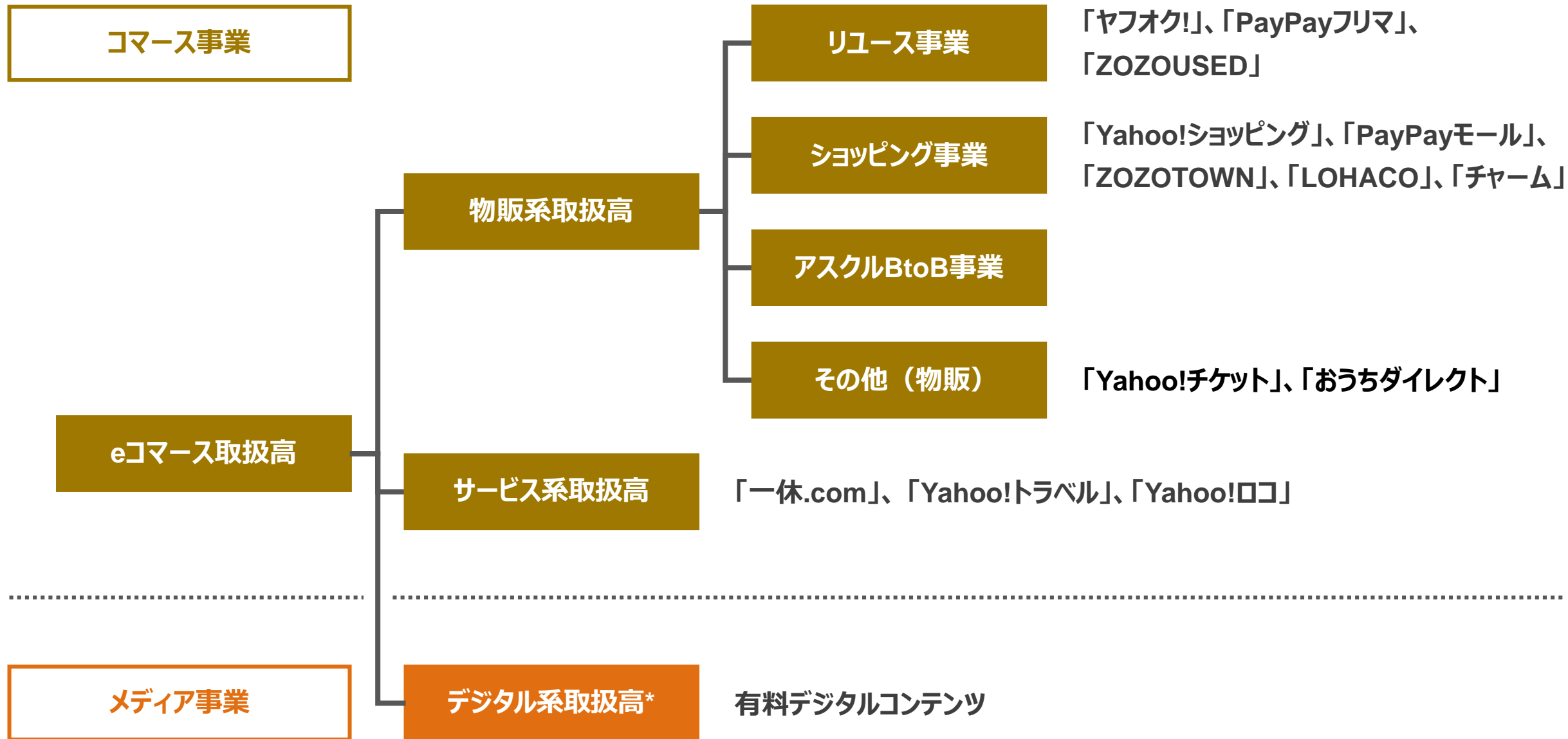
項目		Q4	YoY	主な増減要因
FY2019 Q4 実績		287 億円		
前年度差	売上収益	+387 億円	+13.2 %	<ul style="list-style-type: none"> LINE +252億円 (2021年3月より連結) ZOZO +58億円 (2019年11月より連結) アスクルグループ +8億円
	売上原価	+5 億円	+0.5 %	<ul style="list-style-type: none"> LINE +32億円 ZOZO -18億円 ヤフー +15億円 PayPay銀行 (旧ジャパンネット銀行) -13億円 アスクルグループ -9億円
	販売費及び一般管理費	+448 億円	+31.0 %	<ul style="list-style-type: none"> LINE +308億円 ヤフー +137億円
	以下主な内訳 販売促進費	+173 億円	+74.7 %	<ul style="list-style-type: none"> 主にeコマース取扱高成長に伴う費用増、及び販促施策等による増加
	人件費	+71 億円	+21.5 %	<ul style="list-style-type: none"> LINE +67億円 ZOZO +23億円
	減価償却費	+26 億円	+10.6 %	<ul style="list-style-type: none"> LINE +17億円
	業務委託費	+39 億円	+21.5 %	<ul style="list-style-type: none"> LINE +32億円
	その他収益及び費用	+21 億円	+30.2 %	<ul style="list-style-type: none"> 固定資産売却益やLINE(株)統合に伴う使用権資産の減損損失 等
FY2020 Q4 実績		198 億円	-30.7 %	

各セグメントの主な商品

コマース 事業	広告	ディスプレイ広告（「運用型」、「予約型」）、「ZOZO」
	ビジネス（法人向け）	「ASKUL」、「ZOZO」、アフィリエイト関連、予約関連、「ヤフオク!」法人向けシステム利用料、決済関連、銀行業関連、クレジットカード関連等、不動産関連
	パーソナル（個人向け）	「LOHACO」、「ZOZO」、「Yahoo!プレミアム」、「ヤフオク!」個人向けシステム利用料、「PayPayフリマ」販売手数料、クレジットカード関連、ペット用品関連、通信キャリア関連、銀行業関連、FX関連等、決済関連
	その他	銀行業関連
メディア 事業	広告	検索広告、ディスプレイ広告（「運用型」、「予約型」）
	ビジネス（法人向け）	メディア関連、CRM関連等
	パーソナル（個人向け）	動画関連、電子書籍関連等
その他	広告	LINEディスプレイ広告、アカウント広告等
	ビジネス（法人向け）	LINE FRIENDS、O2O、コマース、AI関連、公金決済関連等
	パーソナル（個人向け）	LINEコミュニケーション、コンテンツ、金融サービス関連、「Yahoo!メール」、公金決済関連等

注：ビジネス、パーソナルの区分けは契約者が法人の場合はビジネス、個人の場合にはパーソナルに分類。商品項目によっては、ビジネスとパーソナルに分けて実績を計上

コマース事業



* 有料デジタルコンテンツの取扱高。FY2018 Q4までは「Yahoo!ブックストア」の取扱高を含む。FY2020 Q3より、デジタルコンテンツ事業はメディア事業に移管